

食育月間（6月）の取組

取組市町村名	向日市
取組団体・企業名	向日市立第5保育所
取組の名称	京都の伝統食「水無月を食べて夏を元気に過ごそう」
実施時期	令和2年6月30日（火）
取組内容	<p>京都には毎年6月30日に「無病息災を願って水無月を食べる」という風習があります。向日市の保育所では、伝統食として3時のおやつに手作りの水無月を提供しています。</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の伝統食を食べる。 ・調理員が各部屋に入り、由来を子ども達に伝える。 ・保護者全体に由来が伝わるよう、掲示板を活用して啓発する。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任保育士と調理員が各クラスに入り、食事の様子を見ながら、年齢に合わせて伝えました。2歳児クラスで、「小豆を1粒食べると元気になるよ」と伝えると、苦手な子もみんな意欲いっぱい楽しんで食べていました。 ・由来等を掲示すると、保護者は展示食の水無月をみたり、「食べたの？美味しかった？」と声を掛けていました。
成果	伝統食を食べることを意識できる行事となりました。暑い夏を乗り切り元気に過ごせそうです。
課題及び今後の展望	食事形態も洋食、洋菓子が多くなるなか、継続して実施していきたいです。

食育月間（6月）の取組

取組市町村名	向日市
取組団体・企業名	向日市立第6保育所
取組の名称	京都の伝統食「水無月を食べて元気に過ごそう」
実施時期	令和2年6月30日（火）
取組内容	<p>京都では、6月30日の「夏越の祓（なごしのはらえ）」に「水無月（みなづき）」という名前の和菓子を食べる風習があります。和菓子の水無月は三角形の白いうろろうの上に小豆を散らしたものです。赤い小豆は邪気をはらうとされていて、三角の形は氷を表しています。夏越の祓は無病息災を祈る行事です。それに合わせて向日市の保育所では6月30日の3時のおやつに手作りの水無月を提供しています。</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の伝統食を食べる。 ・由来を子ども達に伝える。 ・保護者にも水無月の由来や作り方を伝える。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつ時間に調理員が幼児の各クラスに由来や水無月の材料（あんこがのっている事など）を話しにいきました。 ・話をした後、調理員も子ども達と一緒に食べました。5歳児クラスでは、小豆の話が話題になる等、調理員と喜んで食べる姿が見られました。 ・玄関ホールに水無月の由来やレシピを掲示し、親子の会話の話題になるようにと考え取り組んでいます。
成果	<p>調理員が前日に各年齢のクラス担任にどのように話をしたら子ども達が興味を持って聞けるか等、内容について相談をしました。その結果、各年齢に合わせた話ができ、子ども達は興味を持って聞いていました。</p> <p>調理員が子どもと一緒におやつを食べることで、食事中の子ども様子を知る機会の一つとなりました。今後の食育の取組に生かしていきたいと考えています。</p>
課題及び今後の展望	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、食事中は子ども達の会話も過度にならないようにしなければいけない現状があります。そのような中でも、子ども達が食事の時間を楽しめるよう工夫をしています。今回の取組では、調理員が水無月の由来を話したり、一緒に食べたりすることが、子ども達にとって楽しい時間や食べる意欲に繋がりました。今後もこのような取組を継続したいと思います。</p>




食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>城陽市 城陽市立今池保育園</p>
<p>取組の名称</p>	<p>夏野菜を育てる (プチトマト、きゅうり、なす、とうもろこし、枝豆、ピーマン、オクラ)</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>【対象】 幼児クラス 78名</p> <p>【目的】 野菜の成長を観察し、美味しく味わう。</p> <p>【内容】 毎日水をやり、成長を観察し、収穫した野菜を給食でいただく。</p> <div data-bbox="472 884 1412 1115" data-label="Image"> </div> <p><とうもろこし、枝豆、オクラの収穫の様子></p> <div data-bbox="491 1205 1337 1406" data-label="Image"> </div> <p><夏野菜カレー、ボイルしたとうもろこし、ピーマンの甘辛炒め> 写真の他にも酢の物やサラダ、和え物にしました。</p>
<p>成果</p>	<p>野菜の苗を植えるところから収穫までの過程を観察することによって、野菜に対する興味を高めることができました。自分たちで育て、収穫することによって、とれたての新鮮さを味わうことができました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>なすやきゅうりなどは味付けが多様にできたが、プチトマトは調理のレパートリーが少なかったので、苦手な子どもでも食べる意欲が出るように調理を工夫する必要があると思いました。</p>


食育月間（6月）の取組

取組市町村名	和束町
取組団体・企業名	和束町立保育所
取組の名称	菜園活動、地産地消
実施時期	令和2年6月
取組内容	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜の成長過程を知り、みんなで食べる楽しさや食に対する関心を深めるきっかけ作りとする。 地元の特産物に興味をもつ機会とする。 <p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> 菜園活動1歳～5歳、地産地消0歳～5歳 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 植え付けから水やりを各年齢で担当し、成長記録をつけ収穫の喜びがわかりやすいように収穫表も作成しています。収穫した野菜は給食に使用しており、使用日は園内放送を利用して園児に周知しています。 地元の特産物である茶葉を給食やおやつに使用して提供しています。 給食だよりや給食のサンプルを展示して保護者にも紹介しています。
成果	<p>給食に自分たちの収穫した野菜や地元の食材が入っていることが喜びにつながり、楽しんで給食を食べる姿が見られました。</p> <p>収穫表に収穫した野菜の数のシールを貼ることで、小さい子でも一目でわかり、みんなで収穫を楽しみにしています。時には枯れてしまうものもある中、疑問に思うことや新しい発見もありました。</p>
課題及び今後の展望	<p>今後も子ども達が地元の食材にふれたり、自ら育て収穫する過程を通して食に興味を持ち、楽しさを味わっていけるようにしたいと思います。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>笠置町 笠置町立笠置保育所</p>
<p>取組の名称</p>	<p>菜園活動</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年5月22日（金）から継続して実施</p>
<p>取組内容</p>	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 菜園活動を通して、様々な野菜に興味・関心を持つ。 ・ 収穫の喜びを味わい、好き嫌いせず何でも食べようとする。 <p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児（0歳児～5歳児） 9名 <p>【内容】</p> <p>菜園活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜（バナナ瓜・なす・とうもろこしなど11種類）の苗を植えました。 ・ 水やりなど世話をしながら観察し、気づいたことを話し合っています。絵本や図鑑を通して、育てた野菜について分かったことを友だちに伝えています。 ・ 活動時の写真やつぶやきを掲示したり、おたよりを通じて保護者に知らせています。 <div data-bbox="504 1171 1422 1391" style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>成果</p>	<p>子ども達は、初めて植えたバナナ瓜を例年以上に興味深く観察し、小さな変化を発見しながら生長する様子を楽しんでいました。また収穫した野菜が給食のメニューに出てくると、「〇〇ちゃんが採ったの入ってるで！」と嬉しそうに話しながら食べる姿が見られました。それぞれの野菜が生長するなかで、大きさや形、色などの変化を観察しながら収穫時期を自分たちで判断し、楽しみながら栽培活動に取り組んでいます。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>栽培活動のなかで発見したことや考えなどをみんなの前で発表する機会を作り、共感や新たな気づきを通して、さらに意欲的に活動できるようにしていきたいと思います。また、野菜に限らずさまざまな食材に興味を広げ、食への関心が深まるように取り組んでいきたいと思います。</p>



食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>精華町 精華町立ほうその保育所</p>
<p>取組の名称</p>	<p>保育所における一年間の食育活動についての紹介</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>毎月、月替わりで保育所での食育の取組をお知らせしていますが、今年 は新型コロナウイルス感染症の影響で昨年同様の活動はできていません。 そのため、昨年一年間の保育所での食育活動を一覧にして掲示しました。</p> 
<p>成果</p>	<p>一年を通して月ごとの食育の活動を見ることで、野菜の旬や生長の様子、 なり方、子どもにできるお手伝いやクッキングの様子を伝えることができました。</p>
<p>課題及び 今後の展望</p>	<p>今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で今までのような食育活動はで きませんが、できるだけ子ども達が楽しく安全に食育活動ができるよう工夫 していきたいと思います。</p>



食育月間（6月）の取組

取組市町村名	精華町
取組団体・企業名	社会福祉法人千祥福祉会ひかりだい保育所
取組の名称	食育紙芝居週間
実施時期	令和2年6月15日（月）～6月22日（月）
取組内容	<p>【対象】 幼児クラス（3～5歳児） 112名</p> <p>【内容】 食育に関する紙芝居を6冊用意し、幼児クラスで一週間食育の紙芝居を毎日読みました。</p> <p>① 「きこえたね！いただきます」 食育目標 「一緒に食べたい人がいる子ども」</p> <p>② 「ひみつのあかいジュース」 食育目標 「いのちの不思議さに気付く子ども」</p> <p>③ 「おやおやもったいない」 食育目標 「食べ物を話題にする子ども」</p> <p>④ 「はなたろうとあかべえ」 食育目標 「お腹がすくりズムがもてる子」</p> <p>⑤ 「おふくちゃんのおいしいごはん」 食育目標 「食事作り、準備にかかわる子ども」</p> <p>⑥ 「おいしいランドのたんけんたい」 食育目標 「食べたいもの、好きな物が増える子ども」</p>
成果	<p>お話を通して、子ども達に分かりやすく、食べ物についての不思議さや面白さを伝えることが出来ました。</p> <p>食事のマナーだけでなく、食事をすることの楽しさや、嬉しさも伝えることが出来ました。</p>
課題及び今後の展望	<p>食育の集いを行い、保育士劇やパネルシアター等を使用して、子ども達に食事の楽しさやマナーを引き続き伝えていきたいです。</p> <p>食事をすることの大切さを今後も引き続き伝え、「食」について自分から興味や関心をもてる子どもを育てていきたいです。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>京田辺市 京田辺市立南山保育所</p>
<p>取組の名称</p>	<p>園内菜園活動・食材調理の準備手伝い</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年5月11日（月）～（さつまいも） 令和2年5月11日（月）（エンドウ豆収穫） 令和2年5月21日（木）（空豆の皮むき）</p>
<p>取組内容</p>	<p>さつまいもの畑作りから子どもと一緒にいきます。2歳児が毎日水やりをします。10月の収穫に向けて、楽しみにしています。</p>  <p>エンドウ豆の収穫・空豆の皮むきをしました。</p>  <p>保護者に給食のレシピを紹介し、家庭と一緒に楽しく食育に関わることができるようにしています。</p>
<p>成果</p>	<p>菜園活動の中で、子ども達同士の言葉のやりとりが増え仲間意識が芽生えたり、土や植物に触れる際、手指の動きや身体作り等の確認ができました。子ども達のうれしい気持ちを共感する中で、様々な食物にも関心が持てるようになりました。空豆の皮むきでは、実際に食材に触れ、苦手だった子ども興味を持って食べられるようになりました。このような活動で食べられる食材が増えてきました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>乳児保育所のため、できることは限られてきますが、子どもや保護者の方々にも興味を持っていただく機会となっているので、家庭でも子どもと一緒に楽しめるような食育活動を伝えていきたいです。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>京田辺市 京田辺市立三山木保育所</p>
<p>取組の名称</p>	<p>おやつ作りのお手伝い（ジャガイモの皮むき）</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月16日（火）</p>
<p>取組内容</p>	<p>【目的】 おやつ作りに関わることによって、食材に興味をもち、食べる喜びを感じられるようにします。</p> <p>【対象】 5歳児 54名</p> <p>【内容】 ジャガイモを洗い、ピーラーで一人ずつ皮むきをしました。皮をむくと、きれいな面が出てきて、思わず「リンゴみたい！」と驚く姿が見られました。思った以上に力を入れないと皮がむけず、「かたい・・・」と言う子もいました。おやつに出てきたフライドポテトを嬉しそうに誇らしげに食べながら、「家でもやりたい！！」「今日帰ったらする！！」と言う声がたくさん聞かれ、貴重な体験となりました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
<p>成果</p>	<p>実際におやつ作りに関わることで、食材への興味や関心が高まり、調理することの楽しさを体験することができました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>子ども達が実際に色々な食材に触れる機会を見つけて、食育活動につなげていきたいと思えます。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>京田辺市 京田辺市立草内保育所</p>
<p>取組の名称</p>	<p>夏野菜の栽培活動</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>【目的】 栽培活動を通して、旬の野菜に興味関心をもって世話をし、生長や収穫し食べる喜びを味わいます。</p> <p>【対象】 2歳児～5歳児（78人）</p> <p>【内容】</p> <p>① 保育士とともにプランターに苗植えを行いました。オクラ、ナス、トウモロコシの苗を見たり、触れたりすることで興味をもち、4、5歳児は昨年育てた経験から、収穫を楽しみに取り組んでいました。</p> <p>② 毎朝、当番活動で水やりや観察を行い、生長し変化していく様子に気づき、喜ぶ姿が見られました。</p> <p>③ 保育士と一緒に収穫を楽しみました。はさみを使っても思いのほか茎が固くなかなか切れないことに驚く姿がありました。</p> <p>④ 給食メニューの“ナスのそぼろ煮”に収穫したナスを調理して入れてもらいました。ナスを探しながら嬉しそうに食べていました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">① </div> <div style="text-align: center;">② </div> <div style="text-align: center;">③ </div> <div style="text-align: center;">④ </div> </div>
<p>成果</p>	<p>園庭にプランターを設置して育てることで生活の中で食材を身近に感じたり、生長して変化する様子に気づいたりする様子が見られました。また、保護者の方も送迎時に目に入ることで、子どもと一緒に生長に気づかれたり、アドバイスをいただいたりして栽培活動に参加したり興味をもってもらうことができました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>天候や気候に左右されることでもあるため、さらに土作りや世話の仕方を保育士が学んでいくことも大事であると感じました。今後も収穫が続きますので、自分たちで収穫した野菜を食べる経験を重ねていけるようにしたいと思います。</p>


食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>亀岡市 亀岡市立中部保育所</p>
<p>取組の名称</p>	<p>栽培活動・クッキング活動</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>“意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しむ”というねらいをもって、食育の取組を進めています。</p> <p>○栽培活動 きゅうり・なす・ピーマン・トマト・ポップコーン・スイカ・ラディッシュなどの野菜を栽培しています。子ども達が水やりや観察、収穫をしクッキング活動や給食に取り入れて食べています。</p> <p>○給食 プランターで育てたラディッシュと畑で育てた野菜を給食で食べています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="443 936 762 1361"> </div> <div data-bbox="769 936 1104 1191"> </div> <div data-bbox="1110 936 1445 1348"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="450 1370 753 1518"> <p>どんな野菜を育てたいのか、子ども達が考えました。</p> </div> <div data-bbox="769 1200 1104 1451"> </div> <div data-bbox="1126 1370 1439 1518"> <p>野菜の成長を楽しんでいます。どれだけ収穫できたかをシールで貼っています。</p> </div> </div> <div data-bbox="794 1460 1082 1572" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「大きい、キュウリがあったで！給食の先生に届けよう。」</p> </div>
<p>成果</p>	<p>食を通じて素材に目を向け、素材に関わり、素材を調理することに興味をもつことが生きる力へとつながる一つとなっています。野菜の世話をすることで、料理との関係を考え、食材に対する感覚を豊かにしています。栽培やクッキング、給食を通して食べることへの感謝の気持ちを感じることができます。様々な野菜を身近な食材として味わうことができました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>乳幼児期に食に関する興味を深め、様々な体験を積み重ねることが保育所でできる重要な役割と考えています。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>亀岡市 亀岡市立本梅こども園</p>
<p>取組の名称</p>	<p>農業体験</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月22日（月）</p>
<p>取組内容</p>	<p>【対象】 年長児6名、年中児2名</p> <p>【内容】 田植えをしました。種から育てた苗をバケツに植え替えていきます。バケツの中に土を入れ、土の感触を楽しみながら、「ふかふかのベッドを作る」と意気込んでいました。植え替えるときにはそっと優しく稲を持ってバケツに稲を植えていました。大きく育つことへの期待を胸いっぱいに行っている子ども達でした。</p> <div data-bbox="485 999 999 1402" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1015 999 1418 1406" data-label="Image"> </div>
<p>成果</p>	<p>田植えを楽しみながら、土に触れ親しんだり、感触を楽しんだりする経験を味わうことができました。大きく育つことや収穫への期待を感じながら、命を大切にする思いが見られました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>毎日継続して稲の様子を見たり、世話をしたりすることが難しい子も中にはいるため、収穫後のクッキングを楽しみに育てられるよう環境を整え、援助していきたいです。</p>


食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>福知山市 ひまわりこども園</p>
<p>取組の名称</p>	<p>じゃがいもクッキングにチャレンジしよう！</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>年長組と年中組でじゃがいも掘りを行いました。例年は、収穫した野菜を使って子ども達とクッキングを行い、食に興味を持ち喜んで楽しく食べる、何でも食べて健康な身体になる取組をしていますが、今年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止でクッキングを自粛しました。</p> <p>クッキングの機会を大切に、また親子のふれあいの機会を持ってもらうことをねらいとし、おうちクッキングを計画しました。収穫したじゃがいもを持ち帰り、各家庭でクッキングしていただき、作っている様子や食べた感想などをまとめていただきました。そして、各家庭でじゃがいもを使った献立を考えていただきました。</p> <p>○じゃがいもを使った献立</p> <p>ポテトチップス、ポテトチーズ、ポテトサラダ、カレーライス、クリームシチュー、フライドポテト、じゃがいもポリポリスティック、じゃがいもチーズ、肉じゃが、じゃがいものチーズガレット</p> <p>写真付きで提出いただいた家庭が多く、家族で楽しみながらクッキングをしてくれた様子がよく分かりました。</p> 
<p>成果、 課題及び 今後の展望</p>	<p>子ども達が自分で育て収穫できた喜びと家族と一緒にクッキングができた達成感が味わえたこの企画は、今後も続けていきたいと思いました。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>京丹後市 京丹後市立久美浜保育所</p>
<p>取組の名称</p>	<p>玉ねぎの収穫&玉ねぎ干し</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月9日（火）、10日（水）</p>
<p>取組内容</p>	<p>6月9日（火）、5歳児（15人）が玉ねぎを収穫しました。玉ねぎの葉っぱがたおれるとぬいたらよいと、祖父母から聞いた5歳児。朝、玉ねぎの葉がたおれているのを見つけ、朝の会で「玉ねぎを、もうぬいた方が良いよ。」とみんなに伝えてくれ、玉ねぎ畑に集まりぬくことになりました。「玉ねぎはそ〜とぬいてください。」と教えてくれ、皆で作業しました。たくさん収穫ができ、玄関に運び、お家の人にも見てもらいました。</p>    <p>6月10日（水）、玉ねぎを3、4個ずつ束ねて玉ねぎ干しに挑戦しました。物干し竿に引っ掛けて、羽ネギの部分や、根っこをはさみで散髪しました。してみるとおもしろくて、散髪屋さん何人もいました。つるんつるんの玉ねぎになったものもありましたが、とっても楽しかったようです。後片付けも最後までしてくれました。夏野菜カレークッキングや給食に使ってもらい、小さい組さん達とおいしく食べたいと思います。</p>   
<p>成果</p>	<p>4歳児の秋に自分達で苗を植え、5歳児の収穫時まで育てることによって、興味・関心がわき関わる事が出来ました。個数を数えたり、収穫の時期や特性など図鑑で調べたり、お家の人から聞いてくるなどして、詳しく知ることが出来、大変良い機会となりました。苦手な子どもも給食に出てくると自分たちが収穫したものであると喜び、食べられるようになっていきます。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>今年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、地域の方（野菜の先生）に来てもらうことが出来なくて残念でした。異年齢児や地域の方々とふれあい、コミュニケーションを取りながら、反映していけるともっと良かったです。新型コロナウイルス感染症の収束を心から願います。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>京田辺市 京田辺市立小学校全9校</p>
<p>取組の名称</p>	<p>食育月間 食育の日献立等の実施</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月4日（木）</p>
<p>取組内容</p>	<p>6月は食育月間として、京田辺市全小学校の共通献立にて「歯と口の健康週間献立」を実施しました。</p> <div data-bbox="520 674 1369 871" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>『歯と口の健康週間献立』 新型コロナウイルス感染症の影響で献立が2品になりましたが、十六雑穀ごはんを用いてよく噛むことを意識し、歯と口の健康へつなげる献立を実施しました。</p> </div> <div data-bbox="624 887 1203 1301" style="text-align: center;">  </div>
<p>成果</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により、給食委員会の活動ができない学校もありましたが、給食時間の放送で6月4日から「歯と口の健康週間」がはじまり、給食でも「噛むこと」を意識して食べましょうという啓発ができたと思われます。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>毎年6月に実施していた食育の日献立『まごはやさしい献立』は、今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で献立が2品になったことから「まめ、ごま、わかめ（海藻）、やさい、さかな、しいたけ（きのこ）、いも」を揃えることができませんでした。</p> <p>食育月間の認知度を高めるため、より効果的な掲示や放送などの方法を見直していきたいと思ひます。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>宮津市 宮津市立宮津小学校</p>
<p>取組の名称</p>	<p>大豆の栽培から加工までの体験（総合的な学習の時間）</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月17日（水）</p>
<p>取組内容</p>	<p>【対象】 3年生児童72名、4年生児童86名</p> <p>日本の風土を生きしながら受け継がれてきた、昔の人の生活の知恵を学び、日本の食文化の良さを知ることがを目的に、スライド（大豆の来歴、伝統行事、利用、栄養、栽培概要等）で事前に学習した児童が、は種作業を行いました。</p> <p>短時間ではありましたが、この作業を実際に体験して、「ちょっと難しかったけど、楽しかった」「収穫が楽しみ」等の声も聞かれ、栽培に興味を示してくれたようでした。</p> <p>小学校では、「総合的な学習」として、収穫作業（11月）や地元の方々の支援も受けながら、味噌加工・豆腐作り等（12、1月）を実施します。</p> 
<p>成果</p>	<p>自分の身体を使い、は種や除草・土寄せ作業を行うことで、農作業の大変さや楽しさを感じることができた様子でした。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>今後も、子ども達に、成長過程の観察や収穫・加工体験を通じて、農業をもっと身近に感じてもらえるような活動をしていきたいです。</p>

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>亀岡市 亀岡市立別院中学校</p>
<p>取組の名称</p>	<p>農園活動と食育</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>本校には校舎北側に近隣の方からお借りした田と畑があります。年間を通して、生徒たちと共に農園を管理し、作物を栽培収穫しています。生徒会では体育農園委員会を中心に水の管理から収穫まで世話をしています。</p> <p>今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休校が続き十分な活動が行えていませんが、出来ることを少しずつ取り組んでいます。6月には、各学年で玉ねぎの収穫をし、家庭での料理にも使っていただき、感想を学校に届けて頂きました。例年なら、玉ねぎスープ等を作り、昼食時に弁当と一緒に美味しく頂く取組をしていましたが、今年は、「おすすめレシピ」を配布し、いつもとは違う家庭とのつながりを持ったことで思わぬ効用がありました。</p> <p>【感想】 「玉ねぎは帰って晩ご飯で食べました。玉ねぎ、生で食べると辛い！」「おすすめレシピ作りしました。簡単で甘くておいしかったです。」 「先生の愛情たっぷりやから、スーパーのとは味が違うと、おばあちゃんも大絶賛でした。ありがとうございました。」</p> <p>【家庭からの簡単レシピ】 ①別中玉ネギをスライス②ジップロックに投入③簡単酢投入④一晚ねかす⑤翌日、食べる⑥ウマシ！</p> <p>家庭と学校で食を通じたコミュニケーションをねらいとした取組が出来ました。今後、畑については、夏野菜の収穫後、収穫祭や、冬野菜の植え付けなどを行います。秋や冬にもそれぞれの時期に穫れる作物を使って収穫祭を行っています。田については、秋の稲刈り後、PTA行事として餅つき大会を行う予定です。注意深く感染予防をしながら進めています。</p>



食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>相楽東部広域連合立笠置小学校</p>
<p>取組の名称</p>	<p>地域の特色ある自然や文化を継承するための取組</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>【対象】 全校児童</p> <p>【内容】 本校のある笠置町内には、弥勒摩崖仏など観光名所になるような歴史的な建造物が存在している。また、山に囲まれ、木津川が流れるなど多くの自然が残っており、ボルダリングやキャンプのために他府県の人が来ることが多い。そこで建造物や自然を給食献立に取り入れ、地域の特色を改めて理解することができた。また、この経験を総合的な学習の時間や生活科の学習につなげている。ホームページやおたより等で地域や保護者に発信した。</p> <div data-bbox="592 1077 1262 1541" data-label="Image"> </div> <p>牛乳、笠置山いなり、ジャージャー麺、三色和え</p> <p>【成果】 笠置町の特色について、児童に知らせることができました。給食のレシピを依頼されたので配布しました。</p>




食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>木津川市 木津川市立加茂小学校</p>
<p>取組の名称</p>	<p>朝食摂取に関する取組</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>【対象】 全校児童</p> <p>【内容】 児童の食に関する興味・関心を高め、長期休校後の乱れやすい食生活を好ましいものにするため、廊下の掲示板にて朝食摂取に関する掲示を行いました。</p> 


食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>宇治市健康生きがい課 宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA</p>
<p>取組の名称</p>	<p>JR 宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」における食育啓発展示</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月4日（木）～6月17日（水）</p>
<p>取組内容</p>	<p>宇治市では、令和元年度に、市内で健康づくりや食育活動に取り組む団体がつながって新しいアイデアを出し合いながら、それぞれの取組をより充実したものにしていこうという新しいネットワーク『宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA』を立ち上げました。現在 54 団体が参加しています。</p> <p>この取組を広く市民に周知することを目的に、JR 宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」にて展示を行いました。また、本市で特に力を入れて取り組んでいる「適塩」に関する啓発を行いました。</p> <div data-bbox="494 963 1404 1310" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="502 1344 869 1590" data-label="Image"> </div> <p>↑ 展示の様子 (U-CHA の紹介と、適塩の啓発)</p> <p>← 『適塩レシピ集』 (U-CHA 参加団体がレシピを考案)</p>
<p>成果</p>	<p>この施設は、観光案内や男女共同参画センター、保育園等が併設されているため、乳幼児やその保護者から高齢者まで、幅広い層へ啓発ができました。昨年度に引き続き、宇治市オリジナルの「適塩」に関する冊子や今年度新たに作成した「適塩レシピ集」を配布しました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>「適塩」の取組を始めて3年が経過したので、今後は取組の評価を行い、さらなる啓発を行っていきたいと考えています。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>精華町</p>	
<p>取組の名称</p>	<p>パネル展示、ポスター掲示による食育啓発</p>	
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月1日（月）から6月30日（火）</p>	
<p>取組内容</p>	 <p>役場庁舎内において、食育推進のためのパネルを展示しました。</p>	 <p>近隣駅において「6月は食育月間」のポスター等を掲示しました。</p>  <p>近隣商業施設において「6月は食育月間」のパネルを展示しました。</p>
<p>成果</p>	<p>庁舎内パネルでは、来庁者や職員、図書館への来館者へ、また駅では、電車乗降客へ、商業施設では利用客へと、普段行政事業に参加することが少ない住民への周知啓発が図れたと考えています。</p>	
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>「食」に関する情報提供場所を開拓することが課題と考えています。今後、町内医療機関や金融機関、商業施設などにもポスター掲示などによる食育の啓発を図りたいと考えています。また、「京都府食の健康づくり応援店」の登録支援をはかり、登録店舗を拡大し、登録店の協力のもと、食育の啓発を図りたいと考えています。</p>	

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>精華町</p>
<p>取組の名称</p>	<p>せいか365健康ポイント事業</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月1日（月）から6月30日（火）</p>
<p>取組内容</p>	<p>せいか365健康ポイント事業の実施 食育月間に、栄養バランスチェックシート（1週間分の食事）及び食育チェックシートを記入した方に、健康ポイントを交付しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※せいか365健康ポイント事業とは、町が発行するポイントカードに、ポイント対象事業や健（検）診受診で健康ポイントを貯めて、町内の協賛店で利用できるクーポン券を交付するシステム。</p> </div> 
<p>成果</p>	<p>チェックシートを記入することで、自身の食状況を振り返り、改善への行動変容につながったと考えます。参加者からは下記の感想がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、栄養バランスチェックシートを記入したことで、いもや果物をあまり食べてないことに気が付き、食べるようになった。 ・ 食育のチェックシートをつけ、孫のおはしの持ち方が気になり教えてあげた。 ・ 毎日、牛乳かヨーグルトを食べるようになった。 ・ 自分に不足している食品がわかり、今まで食べていない食品も食べるようになった。
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>多くの住民に「食」に興味を持ってもらうために、「せいか365健康ポイント事業（食関係）」の種類を増やすことが課題と考えています。</p>


食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>精華町</p>
<p>取組の名称</p>	<p>「食」に関する図書の紹介</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月1日（月）から6月30日（火）</p>
<p>取組内容</p>	<p>町立図書館において、「食」に関する図書を紹介するブースを設置し、約50種類の本を紹介しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
<p>成果</p>	<p>特別なブースを設置したことで、来館者の目を引き、通常よりも「食」に関する図書を手に取ってもらう機会が多くなり、興味へとつながったと考えます。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>多くの住民に「食」に興味を持ってもらうために、町立図書館における取組をホームページや広報誌などで広く周知する必要があると考えています。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>精華町</p>
<p>取組の名称</p>	<p>環境月間 食品ロス削減に向けた啓発ポスターの展示</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月1日（月）から6月30日（火）</p>
<p>取組内容</p>	<p>6月の環境月間のパネル展示に併せ、食品ロス削減に向けた取組等を紹介しました。</p> <div data-bbox="555 651 1326 1223" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">環境月間展示の様子</p>
<p>成果</p>	<p>来庁者や来場者が、本町の食品ロスのパネル写真（組成調査時に撮影）を見て食品ロスの現状を知る機会となりました。また、賞味期限・消費期限についての認識を深めてもらうことや、冷蔵庫整理など各家庭で実践できる取組の紹介により、食品ロス削減に繋がるきっかけとなったと思われます。他にも、ごみ減量に関する内容のパネル展示を行っており、全体を通して食品ロスの削減がごみ減量の為に重要な取組であることを認識していただきました。</p>
<p>課題及び 今後の展望</p>	<p>ごみ減量は重要な課題であり、食品ロスの削減は避けて通れません。今後も住民に対してますますの啓発が必要であると考えます。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>京田辺市健康推進課</p>
<p>取組の名称</p>	<p>食育の啓発</p>
<p>実施時期</p>	<p>① 令和2年6月1日（月） ② 令和2年6月10日（水）～19日（金）</p>
<p>取組内容</p>	<p>【方法】</p> <p>① 広報「ほっと京たなべ」6月号に食育についての記事を掲載する。 ② 京田辺市役所2階ロビーに啓発コーナーを設置。食育に関するパネルやポスター等を展示する。</p> <p>【内容】</p> <p>① 食育月間の周知や、市役所2階ロビーでの啓発コーナー「食育展示」の日程等のお知らせ記事を掲載しました。 ② 朝食の大切さや、嗜好品のカロリー、減塩について、パネルの展示を行い、パンフレットやレシピの配布も行いました。</p> 
<p>成果</p>	<p>市役所ロビーでの食育展示では、立ち止まって展示物を眺める人や、パンフレットやレシピを持ち帰る人も多く、食について興味を持っている方が多くみられました。展示を見ている方からは、実物大でイメージが付きやすいと意見をいただきました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>今後も、広報での記事掲載とロビーでの食育展示を、内容を変更しながら継続実施していきたいと考えます。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>木津川市</p>
<p>取組の名称</p>	<p>食育月間における啓発活動</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月1日（月）～6月30日（火）</p>
<p>取組内容</p>	<p>木津川市健康増進計画・食育推進計画（すこやか木津川21プラン）により実施しました。市民の食に対する関心を高めることを目的に、市役所1階住民スペース前でパネル展示やレシピ配架を行いました。</p> <p>展示：パネル2枚 （いちじく・地元産の野菜を一番おいしい旬の時期に食べましょう）</p> <p>配架：いちじく、地元野菜を使ったレシピ（下記参照） 豚肉といちじくのひとロトンカツ、いちじくのコンポート、具だくさん豆腐ハンバーグの甘酢あんかけ、アボカドと豆乳のポタージュスープ、じゃがいもガレット、水無月</p> <p>提供者：京都山城広域振興局農林商工部 木津川市食生活改善推進員協議会</p> <p>スタッフ配置：なし</p>
<p>成果</p>	<p>食育の日（19日）にレシピとやましろレシピのパンフレット、いちじくを使用した食生活改善推進員連絡協議会のレシピを配架し、353枚レシピを持ち帰りいただきました。</p> <p>また、食生活改善推進員連絡協議会のレシピを楽しみに毎月来られる方や、やましろレシピ集の冊子に興味を持たれ持ち帰りをする方が多くいました。地元野菜の食材を使ったレシピの配付や旬の野菜のパネル掲示により、地元野菜の食材を啓発することができました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>6月の食育月間では、旬の野菜のパネルを展示し、レシピ配架を行いました。今後も展示パネル、配架レシピの内容は、地元の食材を中心に普及していきたいと思っております。</p>

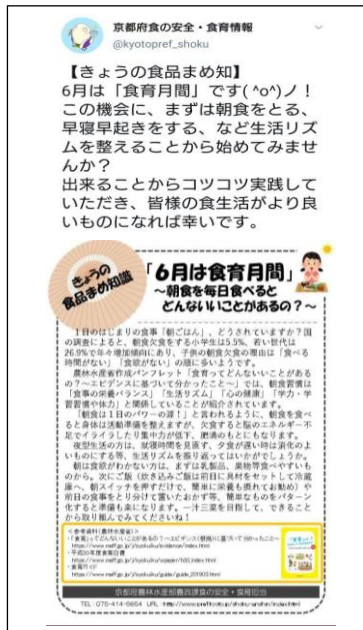
食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>綾部市</p>
<p>取組の名称</p>	<p>食育月間における啓発活動</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月1日（月）～6月30日（火）</p>
<p>取組内容</p>	<p>市広報誌6月号に食育月間の特集を組み、掲載しました。また、離乳食の作り方や進め方をまとめた動画を作成し、市ホームページにて配信をしました。その他、食育ののぼり旗設置やポスター掲示、市民新聞、ラジオ放送で、「バランスよく食べること」「地元の食品を食べることの良さ」等の呼びかけを行いました。</p> <div data-bbox="485 815 845 1294" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="868 815 1394 1191" data-label="Image"> </div> <p>例年食育月間の6月に開催している綾部食育推進ネットワーク会議や街頭啓発活動は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催せず、会議は書面で実績報告をいただき、とりまとめて配布します。（啓発資料を同封する予定）街頭啓発は中止としました。</p>
<p>成果</p>	<p>「広報誌みました」「離乳食の動画、参考にします」等の声が市民から聞かれました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年実施していた啓発活動はできませんでしたが、市広報誌や市民新聞の記事掲載、動画配信等、従来とは違う方法でアプローチができました。このことを生かし、今後も様々なツールを使って啓発活動を行っていきます。</p>

食育月間（6月）の取組

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>京都府丹後保健所</p>
<p>取組の名称</p>	<p>振興局庁舎内における食育の啓発</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月1日（月）～6月30日（火）</p>
<p>取組内容</p>	<p>食育月間である6月に、振興局庁舎内府民ホールにおいて歯科の展示と併せて「適塩」や「野菜を食べよう」等をテーマにパネルやフードモデル等を展示し、来局された府民や職員に対し、正しい食習慣について情報発信を行いました。</p> 
<p>成果</p>	<p>食育クイズを熱心に見ている方もおられ、食育に関心を持ってもらう機会となりました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>講演会やイベントなどの多数の府民が集まる会場にて、健康づくりの推進を目的に、今後も食育に関する展示や体験コーナーを設置します。</p>

<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>京都府農林水産部農政課</p>
<p>取組の名称</p>	<p>京都府食の安全・食育情報SNSによる朝食摂取の啓発</p>
<p>実施時期</p>	<p>令和2年6月</p>
<p>取組内容</p>	<p>食の安全や食育に関する様々な情報を発信することで、食への興味関心をさらに高めていただくことを目的に、ホームページに加え「京都府食の安全・食育情報 SNS（Facebook、Twitter）」でも情報発信を行っています。</p> <p>食育月間には、「きょうの食品まめ知識」コーナーにおいて「6月は食育月間 ～朝食を毎日食べるとどんないいことがあるの？～」をテーマに朝食を食べることの大切さや工夫例を紹介するとともに、「きょうのごはん日記」において朝食をしっかりと食べる取組をした体験談を、農林水産省の「WISE な食育」と連携して推進できるよう、「#WISE な食育 #めざましごはん」のハッシュタグをつけて掲載しました。</p>



<Twitter>https://twitter.com/kyotopref_shoku



<Facebook><https://www.facebook.com/kyoto.shokuanzen.shokuiku/>

ホームページに加えSNSを活用することで、より効果的な情報発信となり、朝食摂取について楽しく考える機会を提供することができました。また、農林水産省公式Twitterアカウントによるリツイートにより、多くの方に見ていただくことができました。引き続き朝食摂取に向けた取組を推進します。